

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 2019年4月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300732
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム 湧水の里 (B棟)
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町5250番地8 (電話) 0994-43-2514
自己評価作成日	2019年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	2019年5月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム湧水の里は雄大な高隅山と湧き水豊かな田園風景が広がる自然に恵まれた素晴らしい環境の整った場所にあります。皆様と共に過ごすホールは明るく、楽しい雰囲気の中、出来る活動への参加を呼びかけ、リハビリ体操やラジオ体操、懐かしの歌や手踊り、食事や行事食も目先を変え、工夫を凝らし楽しんで頂いています。又、天気の良い日には散歩へお誘いし、暖かい光を浴び、季節ごとに咲く花々を眺めて気分転換もされています。家族会は年2回(春と秋)に開催しております。家族的な雰囲気の中、スタッフ手作りのお弁当やお菓子を食べながら同席しておられる方々との交流<情報交換>の場となり、楽しい一時を過ごされます。職員の資質向上に向けた取り組みとしては、毎月テーマにそったレポート提出、内部研修、外部研修の機会を多く持ち、サービスの質の向上に取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人のふれあい」「地域と共に」を基本理念とし、朝の申し送りの後に唱和し、日常のケアの実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会の行事《地域の小中学生による芸能祭り棒踊り》や《祓川小学校の運動会の見学》を通し子供達とのふれあいや交流もある。町内会の消防団の協力も得て訓練も実施している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族会への参加も頂き、認知症についての学びの場や日頃の様子等の説明も行っている。疑問に思われていることや質問を受けたことへのお話や資料等もお渡ししている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・消防団長・利用者・ご家族様の参加も頂き、サービスの実施・評価への取り組み状況等について報告を行っている。毎月発行するホーム便りによる生活の風景写真や色々な行事・活動内容等を見て貰い、それに対する意見を頂き、より良いサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市担当者又は地域包括支援の担当者は運営推進会議等に参加して頂き、利用者やご家族、職員へのお知らせや要望・助言等をいただきながら協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の勉強会を定期的に実施しており、身体拘束による弊害も全職員は理解している。ベッドからの転落事故の危険性のある方へはセンサーマット対応にて拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は毎月のスタッフ勉強会の中において高齢者虐待防止法について学ぶ機会を多く持ち事業者内での虐待が絶対に起こらないようチームケアに取り組んでいる。研修会へ参加し研修結果報告も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者や職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度について研修会への参加または毎月のスタッフ勉強会のテーマに取り上げ学ぶ機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約時に管理者による重要事項説明があり、その中において利用者側からの不安や疑問点をお聞きし、質問に対しては分かりやすく十分な説明を行い理解・納得が得られている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の方々は意見要望を上手く伝えられないが、日々接している中において、職員は感じ取れる部分も多い。家族等意見についてはその都度お聞きしたり、面会時、気軽に相談を頂き、職員間で改善に向けての話し合いを行い、より質の高いサービスに努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日の申し送りや毎月の職員会議の中で意見や提案を聞く機会を設けている。提言などもレポートを提出して代表者や管理者は職員の意見を運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場環境作りを良くしながら、各自が向上心を持って働けるよう色々な意見を聴くことに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回の勉強会に加え、医療法人の外部講師の方を招き内部研修会も行っている。又外部研修への参加はスタッフが均等に受けられるよう配慮している。資格取得も積極的に促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>敬老会やクリスマス会には他施設より参加があり、踊りを披露して下さる。また、春の家族会（活動を通じ）相互の交流も深めサービスの質の向上にむけ取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所等の相談があった時には必ず本人や家族と会い心身の状態やそれぞれの思いに向き合うようにしている。精神的不安の無いよう温かい支援を行い、よりよい信頼関係が気付けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にお会いし、困っている事や不安な事・要望等を詳しく尋ねメモしておく。不安な気持ちに寄り添い、誠意を持って対応していけるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	契約をしに来られた際は管理者と計画作成者がご家族様に懇切丁寧に対応している。又、ご家族様の必要としている支援を見極め十分に話し合い、本人に必要としているサービスの対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活をしている中において料理の下ごしらえや味利き、又、本人に負担のない範囲で色々なお手伝いをして頂いている。(生活リハ)スタッフと一緒にいる事で会話も弾み、楽しい雰囲気の中で家族のような関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を理解した上でどうしても難しい状態・状況が見られた時にはご家族様に相談し共に本人を支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室には、ご主人様の写真や思い出のある置物等が飾ってある。娘、息子様、孫様、親戚の方々の面会が多い。遊びに来られた際にはぜひまたおいで下さるよう声掛け行っている。週に1回は、必ず面会に来てくださるご家族様もおられ、馴染の関係は築けている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの性格や好みなどを把握し会話が弾み笑いが多く聞かれている。また、上手くコミュニケーションがとれない方には職員や利用者様が間に入り話に参加できるよう支えあえるような支援を行っている。又、難聴の方へは筆談で対応を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後にお見舞いに行ったり、電話がきたり、スタッフと楽しく過ごされた懐かしい思い出を振り返った。、ご家族様とお会いした時は感謝の言葉を多き頂き、現状報告と共に悩みごとの相談もお聞きしている。アドバイスのな会話や入居の相談もお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ゆっくりと本人に向き合い、思いや希望・意向をくみ取れるように努めている。本人からの思いを聴き取れない場合にはご家族様からの情報や要望を聞いたり相談しながらサービスにつなげている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの生活歴を伺って介護サービス利用の参考にさせて頂いている。また、生活の流れの中でご家族様や職員との気づき、話し合いにおいて経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人にあつた心身状態を把握し個性を大切にしながら、出来る事を喜び、出来ないことの現状を把握しながら支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の介護日誌・介護サービス内容のモニタリング（月1回スタッフ）し、その結果をケア会議で話し合い、本人・ご家族様からの意見や気づき、要望・アイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録で残す事の大切さは職員一同認識しており、その記録は個々にされている。朝の申し送りや記録を読み合う事で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況・その時々生まれたニーズに対応出来るよう話し合える時間を設けている 気付きや要望に応じ出来る範囲を見極めながら取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会長、地域の消防団の方々の協力を得ながら安心・安全の穏やかな生活を支援出来ている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・ご家族様の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医の受診や訪問看護を利用している。 主治医とは入居者様の現状やホームでの様子を報告し信頼関係も築き適切な医療を受けられるよう支援している。 本人・ご家族様の希望により月2回の訪問診療を受けておられる方もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の関わりの中でとらえた情報や気づきをスタッフと話し合い定期受診時に担当医の先生に相談を行っている。また週1回の訪問看護利用の際は受診結果やホームでの様子を詳しく説明し指導・助言を頂いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には利用者様の基本情報をお渡しする。入院後は利用者様の顔を見に行く事で病院関係者との情報交換・共有に努めた。退院に向けてはご家族様やソーシャルワーカー・担当医との間に入り指導・助言を頂いている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のあり方については本人・ご家族様を交えて説明は行っている。状態の変化においては訪問看護を利用し主治医と連携をとり、事業所でできる支援の方針を共有し共に取り組んでいる。（終末ケアにおいて急変時の対応も皆で共有している）</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変や事故発生時に備えてマニュアルにそった勉強会も行なっている。応急手当や初期対応の方法を定期的に話し合い、実践力の向上に努めている。また救急隊への情報提供カードも半年ごとに作成している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策における勉強会や年2回の火災避難訓練・地震・水害訓練を実施している。運営推進会議においては毎回地域の消防分団長も出席を頂き連携も図れ、協力体制も築いている。又各施設内での避難回避に向けての訓練も実施し連携も図れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの誇りや尊厳を大切に言葉の持つ意味の大切さを十分に考慮している。職員は人格の尊重に配慮した言葉かけや対応を常に心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	病状の進行と共に少しずつ、本人の思いや希望を表わせ無くなるが、出来るだけ分かりやすい言葉でゆっくりと話し掛け、本人の意思・思いを確認しながら自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて柔軟な対応が出来るように介護計画を作成している。一人ひとりに合った暮らしを希望に沿っての支援を実施している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服はご家族様やスタッフが本人に合う色やデザインを選んで購入し持ってきて下さる。ホーム内や病院受診時・外出時などにはその人らしいお洒落を支援し衣類の乱れがないよう気遣っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように彩や盛り付け・目先を変えての献立等又、一人ひとりの好みの把握に努めている。料理の下ごしらえや味付けの具合などへの参加も頂き、評価も頂いている。食後の食器下げも一人ひとりの力量で協力して頂いたり、一緒に片付けをしたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	食べる量や水分量のチェックをその 都度行い一日を通して確保できてい るかの確認を行っている。またお茶 を拒まれる方にはジュース・ポカリ 等も提供し水分確保に努めている。 時間に関係なくこまめに提供。中に は甘い味を好まれる方がおられる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアチェックも毎回行っている。 毎食後の義歯洗浄に加え舌ブラシ、夕 食後はポリデント洗浄も行っている。 認知症の人に多く見られる口腔内の疾 患についても学び集団指導・歯科検診 も実施し状態に応じては歯科受診も支 援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	排泄の失敗やおむつ使用を減ら す意味においては一人ひとりの 排泄パターンを把握したり、時 間での誘導、排泄チェック表で の確認等で自立に向けての支援 を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	排泄・排尿チェック表を基に早め早 めの対応に心がけている。食べ物 〈繊維の多い食材〉芋・果物・ヨー グルト等の提供。又、腹部マッサ ージも行っている、水分も多めに摂取 どうしてもダメな場合は排泄を促す 暖下剤を服薬して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を好まれる方は多いが、本人の意志や体調を考慮して行っている。認知度が進むにつれて声掛けや、時間のタイミングが重要となっている。個々に応じた午前中入浴の方もおられる。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活パターンを把握しその時々状態・状況に応じて対応している。一日を通して安心して気持ちよく眠れるよう言葉かけの工夫や散歩（日差しを浴びる）事も考慮しながら支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援は確実にスタッフが行っている（読み上げ確認）定期薬の変更や追加薬については受診記録紙や薬局からの説明書を個人ファイルに閉じてスタッフ全員が理解できるようにしている。その後の症状の変化についても観察確認行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事への喜びや楽しみを味わって頂きたく、日付の読み上げや、洗濯物たたみその他、（役割支援）（生活リハ）スタッフと共に行う事で達成感や楽しみ、気分転換ができ、笑いの多い日々を支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの体調に応じ外出の頻度は異なるが、出来るだけ本人の希望に沿って外出（ショッピング・ドライブ・お花見、季節に応じた行事）等の支援をおこなっている。ご家族様への参加も呼びかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人、ご家族からのお金の所持金を希望される方は今のところおられません。欲しいものがあつた場合には一緒にお店へ出かけたり、定期受診の帰りに病院の売店にて好みの飴やお菓子を購入して頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様から電話が入った時には、必要に応じ、本人と変わり会話を楽しまれる。ご家族さまとの電話での会話で元気をもらい表情も明るくなる。電話を希望される方への支援もおこなっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やホールは、季節を感じられる折り紙や散歩の途中で摘んで来た草花を生け、明るい雰囲気の中、穏やかに過ごして頂いている。時間に応じては懐かしい音楽（演歌や童謡）を聴かれ居心地の良い環境づくりに取り組んでいる。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室にあるソファでゆっくり過ごされる人、好きな居場所がそれぞれにある。気の合った利用者同士で穏やかに過ごされている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの部屋には思いでのある写真や・お位牌・置物等があったり、テレビをお持ちの方はゆっくりと自分の好きな番組を観たりと居心地良く過ごせるような空間が出来ている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全面バリアフリーになっており、廊下は手すりがかまなく設置されている。利用者が安全に自立した生活が送れるようになっている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない